

## 証拠説明書の作成要領等

書類を証拠としたいときは、証拠説明書とともに証拠としたい書類の写しを裁判所に提出してください。提出部数は、裁判所用1部に相手方の数を加えたものがが必要です。

なお、証拠説明書の記載については、以下の①～⑨を参考にしてください。

- ① どの事件の証拠説明書であるかを明らかにするため、事件番号、原告及び被告の氏名を記載してください。
  - ② 証拠説明書の作成日(裁判所への提出日)を記載してください。
  - ③ あなたの氏名を記載し、押印してください。
  - ④ 証拠とする書類ごとに、原告は「甲」、被告は「乙」という符号を付け、通し番号を記載してください(甲第1号証、乙第1号証と表示する。)
  - ⑤ 証拠とする書類の名称を記載してください。
  - ⑥ 証拠とする書類が手元にあり、これを裁判所で調べてもらいたいときは「原本」と記載し、原本が手元になく、コピー等されたものが証拠である場合は「写し」と記載し、原本は存在するけれど写しを裁判所で調べてもらいたいときは「写し」と記載し、備考欄に「原本に代えて写しを提出」と記載してください。
  - ⑦ 証拠とする書類が作成された日を記載してください。
  - ⑧ 証拠とする書類を作成した者の氏名を記載してください。  
 なお、証拠とする書類が写しの場合は、写しの作成者の氏名を記載してください。
  - ⑨ この書類によって説明したい事実を簡潔に記載してください。
- ※ 証拠説明書作成上の留意事項については、別添の「記載例」で説明してありますので、参考にしてください。

令和〇年(ワ)第〇〇〇号    〇〇請求事件						
原告    〇   〇   〇   〇    } 被告    〇   〇   〇   〇    }						
証 拠 説 明 書						
令和    年    月    日						
広島地方裁判所民事第〇部〇係 御中						
原告    〇   〇   〇   〇   印 (又は被告)						
号証	標 目 (原本・写しの別)		作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考
甲1 (乙1)  ④	領収書  ⑤	原本  ⑥	令和〇年 〇月〇日  ⑦	〇〇〇〇  ⑧	〇〇〇〇が、△△ の代金と××万 円を□□□□か ら領収した事実  ⑨	
甲2	委任状	原本	令和〇年 〇月〇日	★★★★	本件登記申請が 偽造された委任 状によってされ た事実	

